



撮影：賛助会 第1ブロック 平野武信氏

自治体病院とともに50年

理念

公益社団法人全国自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

基本方針

- ①協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ②会員を対象とする研修会等を実施します
- ③その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

巻頭

公益社団法人 全国自治体病院協議会
末永 裕之 参与 インタビュー

新入会社紹介

●新たに加盟した3社の紹介

賛助会活動報告／
創立50周年記念式典開催のお知らせ／
賛助会会員名簿

末永 裕之 参与 インタビュー（小牧市病院事業管理者、日本



パートナーとして、 得意分野から情

聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会
伊藤 会長
藤本 副会長
重田 副会長
渡辺 広報委員
藪野 広報委員

■適正な薬価での購入をアピール

末永先生は長く協議会に携われ、現在は参与として活躍されています。

末永参与

常務理事、副会長を務めまして、平成22年に日本病院会の副会長に就任しましたので、以降、協議会には参与として参加しています。邊見先生が会長になられてずいぶん自治体病院の立場を主張していただき、自治体病院の存在感が高まりました。僕はちょっと外から支えるような形ですが、側面からサポートしていきたいと思っています。民間病院の先生方も多い日本病院会と比べて、協議会ですと、皆さん同じ土俵で同じような悩みを抱えていて、そういうものを共有できるのでごうけり合えますね。しかし傷をなめ合うだけでなく、特にこれからの時代、厳しさも必要です。協議会では、医薬品等の購入に関する委員会の座長をやっています。とかく自治体病院は高い買い物をしていると思われがちなので、適正な買い方をしていこうとアピールしています。薬価のベンチマークシステムを立ち上げました。地域によって値引き率も異なりますね。「この地域は大体これぐらいですよ」ということをお知らせします。それを見てきちんと交渉するというをやっていたいただきたい。また医薬品等の交渉術に関するセミナーも開催しています。

■小牧市民病院で新病棟を建設中

先生は小牧市民病院の事業管理者として経営にも手腕

を振られています。今ちょうど新病棟を建設中ですね。先生が赴任されたときは200床足らずの病院ということでしたが、今は558床。病院が拡大していく経過をずっとご覧になってきたと思いますが、変貌の様子、病院の特色、今後への期待などをお聞かせください。

末永参与

先代の余語弘院長からの「外来患者は絶対断るな」という方針もあり、僕が院長になった当時は外来が1日2,300人ぐらいありました。それを地域完結型医療となることを想定して病診連携を進めるなか少しずつ減らして、昨年の実績ですと平均1,340人ぐらいです。今は研修医を含めて医師は160人ぐらいですが、平成3年に第二期工事で504床になったときでもまだ60人程度しかいなかったんです。そういう大変なときにはやはり、皆がきちんと理解し納得して働いてもらうようにしないとイケない。病院も変わらなくてはイケない。そのために平成11年に院長になってからとにかく現場へ行って、現状を把握して、現実的に変えられるところは変えていき、変わり得ることを職員が実感できるようにする。そういうことをいろいろとやってきました。

外来はなるべく診療所へという動きは今後も国の政策として強くなりますので、意識的に外来数を減らしてきたのはよかったです。愛知県の救命救急センターはすべてER型で、一次救急も引き受けるというのが広がり過ぎてね。紹介状なしの患者さんから特定療養費を頂くようになって救急外来は減っていますが、うちは「三次救急の砦」と位置づけて、その役割はこれからもしっかりと担っていきたくと思っています。

新しい病棟をなぜつくるかという、多人数床がほとんど6人部屋だったんですね。まずこれを4人部屋にしなくてはいけません。現状では無駄がなさ過ぎて物を収納する場所もない。これを何とかしたい。周辺の病院が新しくきれいになっていく中で、他所と比較してアメニティが悪くなるようではまずいと思います。それとやはり、新しい医療にたえる

報発信を



ようなつくり、機能を持たなくてはいけないということで、手術室を12室。PETとハイブリッドの手術室、それからダヴィンチ(手術支援ロボット)。外来化学療法室も拡充します。新しい病院づくりは、働く病院職員の皆さんのモチベーションも上がります。今後に対応できる新しい病院機能とアメニティの向上で働く環境が良くなるということは、患者さんにとってもより以上に病院の環境がよくなるということです。

■病院も賛助会も皆が「元気」で

先生にはわれわれ賛助会とも長くおつきあいいただいているわけですが、賛助会をどう見ていらっしゃるんですか。

末永参与

賛助会の皆さんの顔が明るいとおあ、医療も大丈夫だ。これはいいな」と(笑)。やはり病院を支えていただく皆さんが元気であって欲しいと思う。かといって、皆さんだけ元気で、われわれがしょぼんとしていたら、それは未来がないわけで(笑)。ある人が、ウィン・ウィンというのは右肩上がりの時代のことで、これからの恒常的な低成長の時代はルーズ・ルーズだと。皆が少しずつ我慢しようねという、そういう時代になると言っていました。僕もまさにそう思うのですが、そのルーズ・ルーズが不公平にならないように。病院だけ元気で皆さんが元気じゃないというのもまずいし。皆さんもちゃんと元気になって。元気でなくちゃしょうがないと思うんですね。ルーズ・ルーズと言ってもね、皆ある程度我慢するけれども、その中では明るく前向きにというふうじゃないと楽しくないじゃないですか。

民間病院と違うところで、公立病院は不採算を引き受けなくてはいけない部分があります。自治体病院の運営というのは、住民からの期待もあって、不採算部門までやって当然だろうというところがあり、利潤の上がるところだけやるというわけにはいきません。その部分を皆さんにも理解し

ていただき支えていただきたいなと思います。

■「こんなことまでできる」というアピールを

具体的にわれわれ賛助会に、「こんなふうの手伝ってもらえないものか」とか「もう少し力を貸してもらえないか」ということはありますか。

末永参与

病院の院長たちもまだ、「賛助会ってこんなことをしているよ、手伝えるよ」というところに気がついていないのではないのでしょうか。「最近、こういう業種では、こんなことまでできる」というアピールをしていただきたい。それぞれ得意な分野をお持ちなのだから「こうすると効率も上がるし、成果も出るよ」という情報発信をしていただきたい。僕らが病院にいて受け取る情報というのは限られていますから、結構知らずにいるんです。課題解決のためのパートナーとして、やはりいい情報はいい情報として教えていただけるとうれしい。賛助会の皆さんは地方会議とかいろんなところに来ていただいているし、会員との交流は、常務理事は接する機会がありますから。そこで知ることができる情報は、その代表を通じてその地域にも広がると良いですね。



「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は129社(2017年6月現在)が加入し協議会会員である自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成29年4月13日(木)

平成29年度定時総会



会場：剛堂会館

定時総会では、第1号から第6号議案まで審議の上承認されました。定時総会終了後、ルポール麹町にて懇親会が開催され、全国自治体病院協議会、自治体病院共済会からも多数のご参加を頂きました。

創立50周年記念式典開催のお知らせ

全国自治体病院協議会・賛助会は、1968年7月17日の創立以来、
多くの方のご協力ご指導を賜り、おかげさまで
今年で50周年を迎えることとなりました。

新たな半世紀へ向けてのスタートに当たり、皆様への感謝の気持ちと
御礼の意を込めまして、

50周年記念式典を下記により開催することとなりました。
多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成29年12月14日(木)
講演会 16:00(受付15:30)
懇親会 17:30(受付17:00)

会場 ホテル・ルポール麹町(麹町会館)
東京都千代田区平河町2-4-3

講師 角 盈男 氏



新入会社紹介

第4ブロック

会社名：共創未来ファーマ株式会社

会社HP：http://www.kyosomirai-p.co.jp/

当社は、東証一部上場東邦ホールディングス(株)の医薬品製造販売子会社として昨年11月に発足しました。顧客需要に的確に対応し、高品質・高付加価値なジェネリック医薬品を安定的かつ合理的に提供する事で国民医療に貢献して参ります。



第5ブロック

会社名：株式会社エラン

会社HP：http://www.kkelan.com/

主な事業は、患者様が入院時に必要とされるタオル・衣類・日用品・各種オムツ等をご要望やご容態に応じてセット組みし、弊社と個々の患者様との直接契約にて、一日単位でレンタルする「CSセットシステム」です。



第5ブロック

会社名：株式会社 シード・プランニング

会社HP：http://www.seedplanning.co.jp

「市場調査とコンサルティング」の専門会社です(創業35年)。「医療・医薬」「介護・福祉」「エレクトロニクス・IT」などを専門領域としています。地域医療連携関連プロジェクトや事務局運営の実績も豊富です。





公益社団法人 全国自治体病院協議会と共に50年 全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人 全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

第1 ブロック 医療機器部門 (27社)

協和医科器械(株)
グリーンホスピタルサプライ(株)
コヴィディエンジャパン(株)
コニカミノルタジャパン(株)
サカセ化学工業(株)
サクラ精機(株)
GEヘルスケア・ジャパン(株)
シーメンスヘルスケア(株)
(株)ジェイ・トラスト
シスメックス(株)
(株)島津製作所
すみれ医療(株)
(株)タカゾノ
(株)千代田テクノロ
テルモ(株)
日機装(株)
ニプロ(株)
日本光電工業(株)
(株)日立製作所
(株)フィリップスエレクトロニクスジャパン
フクダ電子(株)
富士電機(株)
富士フィルムメディカル(株)
(株)ホギメディカル
美和医療電機(株)
村中医療器(株)
(株)理舎

第2 ブロック 設備部門 (33社)

アーバス技研工業(株)
IHI運搬機械(株)
(株)IHI汎用ボイラ
(株)AiHO
アイホン(株)
アクアス(株)
アズビル(株)
(株)アルメックス
(株)イトーキ
(株)S&Sエンジニアリング
(株)荏原製作所
(株)岡村製作所
(株)ケアコム
コクヨ(株)
斎久工業(株)
(株)三晃空調
三建設備工業(株)
シーホネンス(株)
(株)スローライフジャパン
(株)セントラルユニ
ダイキン工業(株)
ダイダン(株)
高砂熱学工業(株)
東西化学産業(株)
(株)日本シューター
日本調理機(株)
(株)パートナ
パラマウントベッド(株)
不二サッシ(株)
(株)フジマック
フランスベッド(株)
文化シャッター(株)
YKKAP(株)

第3 ブロック 設計建築部門 (25社)

(株)梓設計
(株)石本建築事務所
(株)伊藤喜三郎建築研究所
(株)奥村組
鹿島建設(株)
(株)教育施設研究所
(株)楠山設計
(株)久米設計
(株)佐藤総合計画
(株)昭和設計
(株)大建設
大成建設(株)
(株)竹中工務店
(株)田中建築事務所
(株)内藤建築事務所
西松建設(株)
(株)日建設計
(株)藤木工務店
(株)フジタ
(株)松田平田設計
三井住友建設(株)
(株)村田相互設計
明豊ファシリティアークス(株)
(株)山田総合設計
(株)横河建築設計事務所

第4 ブロック 製薬部門 (12社)

エーザイ(株)
大塚製薬(株)
共創未来ファーマ(株)
興和(株)
参天製薬(株)
大鵬薬品工業(株)
武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)
東和薬品(株)
日本ケミファ(株)
Meiji Seika ファルマ(株)
持田製薬(株)

第5 ブロック 資材サービス部門 (32社)

(株)アートネイチャー
(株)アイシーエム
(株)アイセイ薬局
(株)アベックス
イオンディライト(株)
(株)医用工学研究所
(株)HRシンフォニー
SBSロジコム(株)
(株)エヌジェーシー
(株)エフエスユニマネジメント
(株)エラン
(株)LSIメディエンス
(株)サン・システム
(株)サンワ
(株)シード・プランニング
(株)ジェイワールドトラベル
(株)じほう
(株)ジャパンピバレッジ東京

(株)ソラスト
大日商事(株)
トータルメディカルコンサルタント(株)
(株)ニチイ学館
(株)日本経営戦略人事コンサルティング
日通旅行(株)
富士産業(株)
ベストワールド(株)
(株)丸井工文社
(株)メディネット
八尾医療PFI(株)
(株)薬栄
(株)ライフケアパートナーズ
ワタキューセイモア(株)

総会員数129社 平成29年6月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

全国自治体病院協議会・賛助会
<http://www.jmha-p.net/>
QRコードで確認できます



平成29年度三役会社

会長会社 (株)伊藤喜三郎建築研究所
副会長会社(会計) (株)タカゾノ
副会長会社(総務) (株)エヌジェーシー